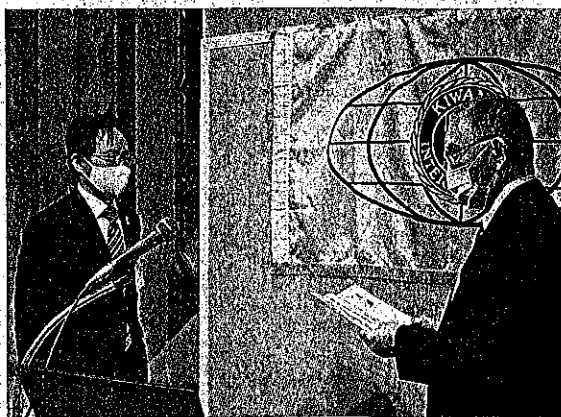


児童虐待防止 絆創膏でPR

高松キワニス、市に3000組贈呈



上枝直樹局長（左）に目録を渡す八十川秀人会長＝高松市

社会奉仕団体「高松キワニスクラブ」（八十川秀人会長）は児童虐待防止を訴えるオリジナル絆創膏3千組を高松市に贈った。

同クラブは例年、児童虐待防止を呼びかける啓発活動を実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となり、絆創膏

によるPRに切り替えた。1組3枚入りで、台紙には虐待に気付いた際の相談窓口の電話番号を記載した。高松市内で行われた贈呈式では、八十川会長が同市の上枝直樹・健康福祉局長に目録を手渡した。上枝局長は「虐待をなくすには市民が強い気持ちを持つことが必要」とあいさつ。乳幼児を対象にした健康診断で配布すると述べた。

同クラブは昭和50年に発足。献身的な奉仕活動をした個人・団体に「キワニス社会公益賞」を贈るほか、小中学校のポランティアへの助成や発表会の開催といった活動を続けている。

高松キワニス

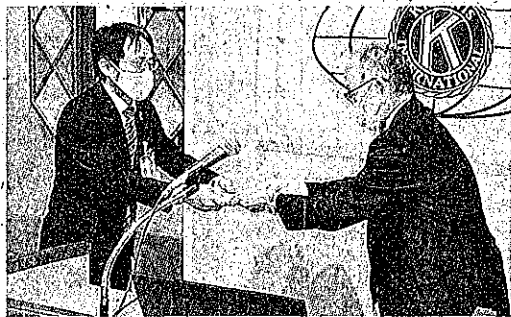
ばんそつこう
3000セット寄贈

市、3歳児検診で配布

民間社会奉仕団体の高松キワニスクラブ（八十川秀人会長）は、児童虐待防止活動の一環として、高松市にオリジナルのばんそつこう3千セットを寄贈した。3枚組の台紙に相談先の県子ども女性相談センターの電話番号などを記載している。市は4月から3歳児検診に訪れた親子に配る。

同クラブは例年、大量量

八十川会長（右）から目録を受け取る上枝局長＝高松市内



販店などで児童虐待防止のキャンペーンを行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から本年度は実施を見送った。八十

川会長は「コロナ禍でキャンペーンは行えないが、子どもたちを守る活動は続けたい」と話している。18日、同市のホテルで寄贈式があり、八十川会長が市健康福祉局の上枝直樹局長に目録を手渡した。上枝局長は「啓発活動が十分に行えておらず、有効にしたい」と感謝した。

また、会員会社のSTN et（高松市）が同日、カレーライスや牛丼などの非常食計約800食分を寄贈した。同クラブを通じて、子ども食堂の運営団体に届ける。

無料事前相談承ります
ベルモニー会館

24時間受付
高松 (087) 867-4441
西讃 (0877) 25-4441